

保健福祉局

一般会計要求額 137,830百万円
(対前年度予算 +4.3%)



◆◆◆要求の基本的な考え方◆◆◆

「元気発進！北九州」プランや各分野別計画の着実な推進を図るため、保健福祉局の目標を「すべての市民が健やかで心豊かに生活し、いきいきと活躍できる“参画”と“共生”のまちづくり」とし、その実現に向けて以下の5項目を重点的に取り組みます。

1 健康の維持・向上

すべての世代が地域のつながりの中で、健やかで心豊かに生活できるよう、平成25年度からの「（仮称）北九州市健康づくり推進プラン」に基づいて、市民の自律的・主体的な健康づくり活動を支援します。

2 高齢者施策の推進

高齢者が生きがいを持ち、地域の担い手として活躍できる環境づくりを進めるとともに、認知症や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、介護を支える「人づくり」とサービスの拡充に取り組みます。

3 障害者施策の推進

障害があっても、その人らしく生活できる社会の実現に向けて、生涯を通じ一貫した相談支援体制の強化や市立障害福祉施設の再整備を図るとともに、雇用・就業機会の拡大など、自立に向けた意欲を支える環境づくりを推進します。

4 地域における見守り・支え合いのネットワークづくり

地域社会が一体となった見守り・支え合いのネットワークづくりに取り組み、身近なところで生活に必要な機能の備わったコミュニティの維持を目指します。

また、生活を支える最後のセーフティネットとして、適正な生活保護を実施するとともに、実効性のある自立支援に取り組みます。

5 地域を支える医療・衛生管理体制の充実

市民の健康と安全を守り、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、多職種連携による在宅医療の支援や、夜間休日初期救急医療など、質の高い地域医療の提供に取り組む。あわせて食の安全の確保や感染症対策などに取り組みます。

◆◆◆重点的に取り組みを行う主なもの◆◆◆

【 は新規事業、○は拡充事業、 はチャレンジ枠】

1 健康の維持・向上

- （仮称）健康づくり応援店事業
- 健康づくり活動推進事業
- （仮）いのちのちこころの支援事業
- 次期食育推進計画策定事業

- 150百万円 [総合保健福祉センター管理課]
- 300百万円 [健康推進課]
- 310百万円 [精神保健福祉センター]
- 400百万円 [健康推進課] など

2 高齢者施策の推進

- （仮称）介護の職場イメージアップ・環境改善チャレンジ応援事業
- 介護支援ボランティア事業
- 認知症対策普及・相談・支援事業
- 認知症高齢者等安全確保事業

- 440百万円 [介護保険課]
- 190百万円 [介護保険課]
- 100百万円 [高齢者支援課]
- 100百万円 [高齢者支援課] など

3 障害者施策の推進

- 障害者就労支援強化事業
- 障害者相談支援事業
- 発達障害者総合支援事業
- 総合療育センター再整備事業

- 600百万円 [障害福祉課]
- 1440百万円 [障害福祉課]
- 510百万円 [障害福祉課]
- 760百万円 [障害福祉課] など

4 地域における見守り・支え合いのネットワークづくり

- 地域協働による買い物支援モデル事業
- 民生委員活動支援事業
- 生活保護受給者に対する自立支援事業
- いのちをつなぐネットワーク事業

- 120百万円 [総務課]
- 1630百万円 [いのちをつなぐネットワーク推進課]
- 1590百万円 [保護課]
- 130百万円 [いのちをつなぐネットワーク推進課] など

5 地域を支える医療・衛生管理体制の充実

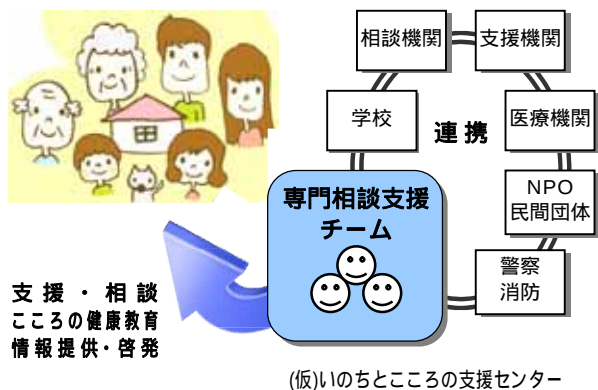
- （仮称）北九州市医療・介護ひまわりネットワーク推進事業
- 第2夜間休日急患センター運営費
- 食肉センター老朽化対策
- 斎場の老朽化対策

- 190百万円 [保健医療課]
- 5850百万円 [保健医療課]
- 1810百万円 [食肉センター]
- 1780百万円 [生活衛生課] など

◆◆◆主な新規・拡充事業◆◆◆

(仮)いのちとこころの支援事業

自殺対策の強化を目的に、新たに「(仮)いのちとこころの支援センター」を設置し、専門相談支援チームによる相談・支援等に取り組みます。



認知症高齢者等安全確保事業

認知症による徘徊行動を行う高齢者等の安全確保のため、GPSを活用した位置探索システムの普及や、行方不明高齢者の早期発見のための徘徊探索模擬訓練のモデル実施など「徘徊高齢者等SOSネットワークシステム」の充実を図ります。



手と手をつなぐ認知症サポーター

第2夜間・休日急患センター運営費

平成25年度にコムシティ内に移転開設する第2夜間・休日急患センターの運営を行います。

<第2夜間・休日急患センターの移転について>

- ・平成25年度に市立八幡病院からコムシティ地下1階に移転します。
- ・診療科は内科・外科・整形外科です。
- ・小児科は引き続き市立八幡病院で診療します。



障害者就労支援強化事業

障害者の雇用人数アップと定着支援の充実を図るため、障害者就労支援センターの体制強化や研修等を行います。



◆◆◆主な特別会計◆◆◆

国民健康保険特別会計（予算要求額 120,770百万円）

被用者保険等に参加しない市民の方全員が被保険者となる医療保険制度で、診療や出産に係る保険給付や、特定健診・特定保健指導等、被保険者の健康保持のため諸施策を行います。

（単価及び諸係数が国から示されていないため、国の内示後に変更予定）

介護保険特別会計（予算要求額 82,642百万円）

介護サービスの適正な保険給付を行うとともに、サービス事業者への研修など、サービスの質の向上に向けた取り組みを行います。また、引き続き介護予防事業の実施や高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」を運営します。

後期高齢者医療特別会計（予算要求額 14,249百万円）

主に75歳以上の方が被保険者となる医療保険制度で、運営主体である「福岡県後期高齢者医療広域連合」が、被保険者の資格認定や医療等の給付、保険料の決定などの業務を行い、北九州市は、市民からの各種申請や届出の受付、保険料の徴収など市民に身近な業務を行います。

（福岡県後期高齢者医療広域連合に対する納付金について、同広域連合から額の提示があった後に変更予定）